

ナットソース・ジャパン株式会社

東京都 千代田区 二番町 6-3, 二番町三共ビル 4 階
TEL 03-5275-1710
FAX 03-5275-1738



お客様各位

いつも大変お世話になっております。ナットソース・ジャパンでございます。

新しい年を迎え、新年早々の慌しい時期もそろそろ落ち着いてきた頃ではないかと思えます。如何なる立場にせよ、排出権の仕事に係っている方々にとっては今年 2007 年という年は、京都議定書の目標達成期間が始まるまであと 1 年というとても大事な年になることは今更言うまでもありません。このような立場の方々に対して、弊社では如何なるお手伝いができるかを日々考えておりますが、考えているだけではなく目に見える形で結果を出さねば皆様からも必要とされなくなってしまうという危機感も併せ持って今年も一年頑張っていくので宜しくお願い致します。

では、今月もニュースレター（NJL2 月号）のご案内をさせて頂く時期になりました。本誌をご購読頂いておりますお客様へは、今週 26 日（金）に電子メールを介しての配信を予定致しておりますので宜しくお願い致します。

・排出権の価格が将来どこまで上昇するのか、あるいは下落するのか、という話は温暖化ビジネス関係者にとっては常に気がかりな問題だと思えます。欧州市場で取引されている EUA の価格に京都クレジットである CER の価格が連動するという考え方もあれば EUA の価格が CER の価格に影響されているという見方もあります。

そこで今回は、EUA の価格に注目し、電力や石油、天然ガス、石炭価格との連動についてデータ解析の手法を用いて因果モデルの作成を弊社大谷が試みましたので是非御一読下さい。

・2005 年の 10 月に初めて CER が発行されてから 1 年以上が過ぎました。今までに合計で約 120 件のプロジェクトに対して総量約 2,800 万トン程度の CER が発行されていきました。発行済みの CER を見ると、プロジェクト分野やホスト国などに偏りが見られます。また、既に CER は発行されているものの、プロジェクトによっては、当初の計画よりも排出削減量が少ないものも存在します。そこで今回は、今までに発行された CER について、プロジェクトタイプやホスト国の分布などについて簡単に分析し、弊社の小松より報告させて頂きます。

・ちょうど 1 年前のこの時期にも NJL に掲載させて頂きましたが、今年も『情報整理の時間』と題して昨年 2006 年の 1 年間の主な排出権関連のニュースを振り返ってみたいと思えます。本誌で採り上げる話題は、過去に新聞やインターネット上で誰もが目にすることができたもので、それらを月別に整理したものです。随分昔の話のようで記憶が薄れているものもあれば、つい最近の出来事で記憶に新しいものもあると思えます。また、ご出張などで見落としていた話題などもあるかもしれませんので、皆様の情報整理のお役に立てるよう弊社の庭田が整理致しましたので是非ご活用下さい。

ナットソース・ジャパン株式会社

東京都 千代田区 二番町 6-3, 二番町三共ビル 4 階
TEL 03-5275-1710
FAX 03-5275-1738



NJL では、排出権、卸電力、RPS などの話題を採り上げ、弊社なりの視点でご報告させて頂いております。各種取引または当社サービスにつきましてのご質問、ご相談などがございます際には、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

下記 URL より過去の NJL の目次をご確認頂くことが可能です。

http://www.natsourcejapan.com/njletter/contents_2005.html

また、お申し込みはこちら よりお願い致します。

<http://www.natsourcejapan.com/njletter/index.html>

ナットソース・ジャパン・レターに関するお問合せは、njl@natsourcejapan.com または 03-5275-1710 (津金) までお願い致します。

なお、このメールは、過去に弊社がコンタクトさせて頂きましたお客様に送らせて頂いております。今後、このようなご案内が不要の際には、お手数ではございますが、その旨、本メールにご返信頂きますと幸いです。今後とも宜しくお願い致します。